

緑ヶ浜周辺地区

(福岡県新宮町)

- 計 画 期 間 平成 20 年度～23 年度
- 面 積 237ha
- 交付対象事業費 2,362 百万円
- 町人口 29,286 人 (地区内人口 4,575 人)

ポイント 中心市街地をつくるにあたり、浄化センターの迷惑施設イメージを払拭させ「環境共生の核」とし、JR 新駅を誘致・整備することによって、歩いて暮らせる「コンパクトシティの核」と位置づけた。

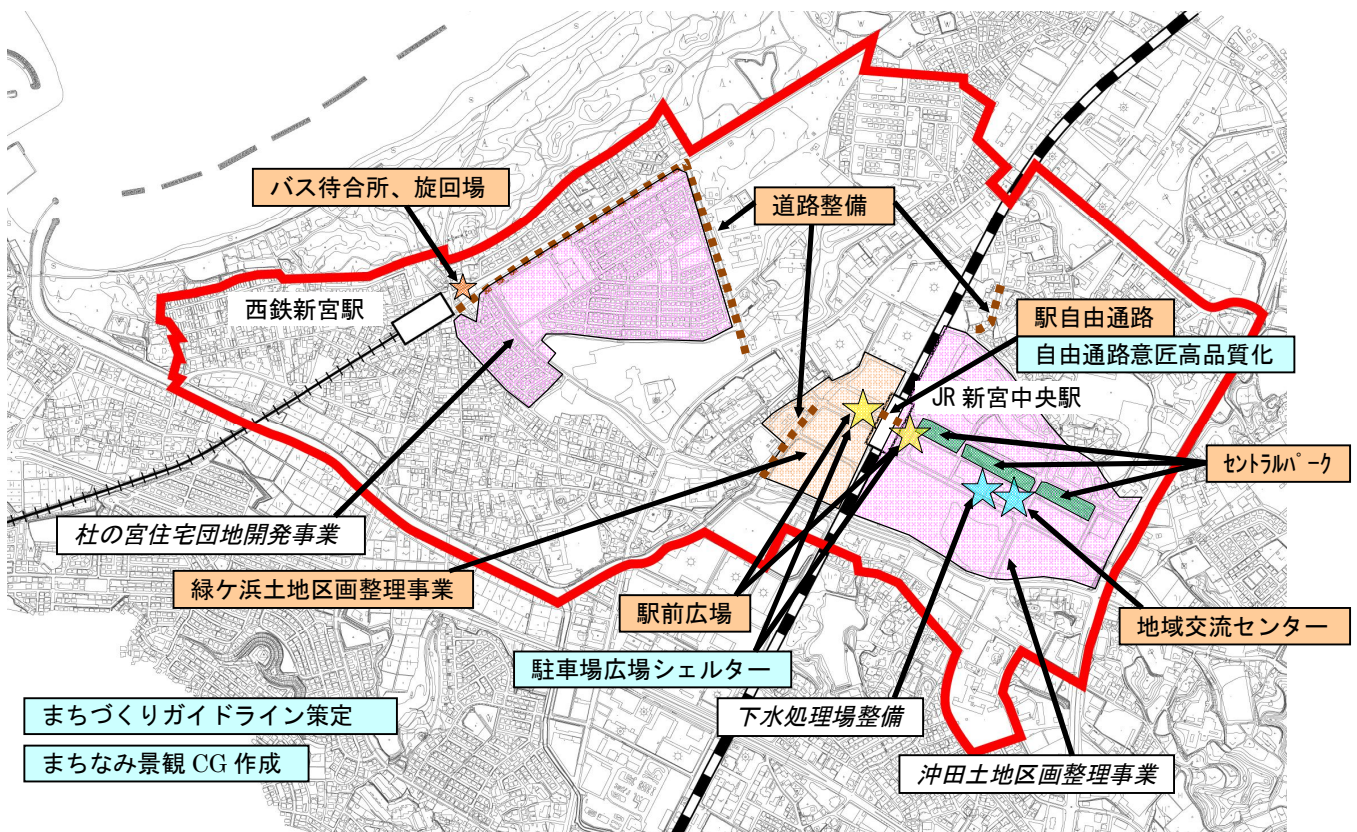
地区概要 交通結節機能の強化による安全で安心な交通環境形成と、住民の交流拠点形成による本町の中心市街地の形成を図る。

目 標 次世代に継承する交通ネットワークの構築及び中心市街地の形成を図る。

指 標 JR 新駅設置と周辺整備による交通結節拠点の形成を図るため、自由通路往来者数や新駅乗降客数を指標とし、住民の交流拠点の形成を図るためセントラルパーク来園者数を指標とした。また、JR 新駅と西鉄新宮駅を結ぶ交通ネットワークを図るため住宅地内通過交通量及び主要施設アクセス時間を指標とした。

自由通路往来者数	0 人 (H19)	→	6,500 人 (H23)
新駅乗降客数	0 人 (H19)	→	5,000 人 (H23)
セントラルパーク来園者数	0 人 (H19)	→	90,000 人 (H23)
住宅地内通過交通量	75 台 (H19)	→	30 台 (H23)
主要施設アクセス時間	15 分 (H19)	→	12 分 (H23)

事業内容 基幹事業 (2,284 百万円) → 道路 (延長 1,471m)、公園 (3カ所 18,000 m²)、自転車駐車場 (2カ所、880 m²)、駅自由通路 (幅員 3.5m、延長 35m)、駅前広場 (2カ所、8,200 m²)、地域交流センター (1カ所、150 m²)
提案事業 (78 百万円) → 駐車場広場シェルター (2基)、自由通路意匠高品質化事業、まちづくりガイドライン策定業務、まちなみ景観 CG 作成業務



地区の現況と課題

本地区は新宮町の北西部に位置し、公共施設や教育施設が集中した地区であった。しかし、町の中心市街地と位置付けられる地域がなかったことや、国道3号、国道495号及びJR鹿兒島本線が南北に縦断することにより土地利用が分断されていた状況を解消することが求められていた。そのため、交通結節機能の強化による安全で安心な交通環境形成と、住民の交流拠点形成による本町の中心市街地の形成を図った。

提案事業の特徴

駅前空間の高品質化

機能的にも景観的にも優れた駅前空間を創出するため、自由通路の意匠高品質化や駅前広場のバス・自動車乗降者用のシェルター（人や物を雨風から守るため設置された上屋）を整備し、利便性を向上させた。

中心市街地の魅力向上

中心市街地が「次世代に継承する交流・居住拠点」であるコンパクトなまちづくりが実現できるよう、基本方針や景観・建築物の基準及びまちづくりへの参画などを定めた「まちづくりガイドライン」を策定し、併せてそれらを視覚的に住民に理解していただけるようまちなみ景観CGを作成した。

計画策定プロセス

官・民・地元の継続的な対話

この緑ヶ浜周辺地区都市再生整備計画は、沖田及び緑ヶ浜土地区画整理事業の二つの土地区画整理事業と民間開発である杜の宮住宅団地開発事業がベースとなっており、対話・協議を重ねながら事業を展開した。

新宮町長 長崎武利 のコメント

新宮町では、この地区に水処理センター（中央浄化センター）の建設を地元を受け入れていただいたことを契機に、JR新駅を柱とする新宮町中心市街地整備事業を展開してきました。本町にとって100年の計といっても過言ではない最大のプロジェクト事業であります。平成13年度にスタートし、平成25年度の区画整理事業完了まで、通算13年間となる本当に長い道のりではありましたが、遂に念願の「町の顔」となる新しい市街地の礎が完成しました。

次世代に継承できる都市機能が集約され、少子高齢化時代にも十分対応できる環境に優しい「まち」ができようとしています。また、イケア福岡新宮店をはじめとする商業施設やセントラルパーク、地域交流センターなどの交流施設を中心に新しい賑わいの創出も期待されており、内外的に注目を集める人気スポットとなっています。

沖田土地区画整理組合

理事長 中野正敏 のコメント

私たち地権者は、新宮町が唱える「次世代に継承する居住・交流拠点」のまちづくりに将来の夢を託し、平成18年2月に「新宮町沖田土地区画整理組合」を設立しました。

そこで、「JR新駅の設置」、「水処理施設用地の確保」、「大型商業施設の誘致」を三つの核とし、多様なライフスタイルに対応した良好な環境で、潤いのあるまちづくりを目的とした事業に取り組んでまいりました。本事業の根幹をなす、商業施設の誘致等の土地利用につきましては、「自分たちのまちづくりは、自分たちの手で」を基本理念とし、効果的な区分と、安心・安全で快適な環境形成に配慮した「公園と共生する美しいまち」として、この地に誕生することができました。



▲ 計画区域の航空写真



▲ JR 新宮中央駅の自由通路



▲ 駅舎と駅前広場及びシェルター（東口側）



▲ セントラルパークと下水処理場



▲ 住民の交流拠点として賑わうセントラルパーク（まつりしんぐう時撮影）